

2013 年度第 2 回理事・企画委員会

理事会議事録

1. 日時及び場所 2013 年 6 月 22 日(土)10:30~12:00
 愛知県稲沢市正明寺 3-114
 名古屋文理大学 文化フォーラム 小ホール
1. 理事総数 15 名
 出席理事数 10 名 赤松幹之、宮尾克、大森正子、岡田明、大門樹、
 丁井雅美、萩原啓、長谷川聡、古川宏
 委任状出席 5 名 木暮祐一、安藤明伸、川野常夫、篠原一光、渋谷雄、田中成人
 企画委員：長谷川旭、福島かなえ（委任状出席：大川努、大杉淳、境薫、矢橋康雄）
 監事：伊藤肇、松沼正平 事務局：都築

1. 審議事項 議案 シンポジウムの件
 議案 モバイル学会誌の件

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり理事全員が出席したので、理事 赤松幹之が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

議案 シンポジウムの件

まず、シンポジウム「モバイル 13」について理事 赤松幹之から資料に基づき報告がなされた。利益額および出席者数は、例年より多かったとのこと。

その後、シンポジウム「モバイル 14」について、担当の理事 萩原啓より資料に基づき大会内容の提案がなされ、各々について検討を行った。(1)日時と場所について：3月13日(木)、14日(金)、立命館大学びわこくさつキャンパス エポック立命 21(予約済み)が提案され、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。(2)オーガナイズドセッションについて：12名の理事にオーガナイザーとしてオーガナイズドセッションをお願いしたいとの提案がなされ、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。(3)メインテーマについて：「モバイル社会はどこへ向かうのか」「モバイル社会の未来を考える」を候補とし挙げられ、検討の結果、提案の方向で検討し、メールでの審議を経て7月中にテーマを決定することとなった。(4)特別講演について：メインテーマに沿って、講演者ある

いは組織について資料に基づき提案がなされ、候補者の検討を進めることとなった。今後は、メールでの審議を経て7月中を目途に決定することとなった。

- ・パナソニックへ、理事 萩原啓がアプローチすることになった。
- ・オムロンヘルスケアへ、理事 岡田明（理事 田中成人）がアプローチすることになった。
- ・モバイル社会研究所の遊橋氏へ、理事 古川宏が打診することになった。

(5)その他：シンポジウムの Web ページは、立命館大学（理事 萩原啓）にて作成し、学会 Web からこのページへリンクすることが提案され、全員異議なく承認した。

また、シンポジウム「モバイル 15」の担当理事を決定するにあたり、候補として名古屋地区での開催が提案されたが、継続審議となった。

議題 モバイル学会誌の件

理事 大門樹より、資料に基づき、以下の提案がなされた。

・原著論文に2つのカテゴリー（「分析・実証型研究」と「構成・提案型研究」）を設ける。

- ・モバイル学会誌論文投稿規定への該当を追加する。
- ・投稿票において、著者の主張を明確に記載する欄を設ける。
- ・査読報告書において、論文査読の方針を明記する。

検討の結果、基本的に承認された。文言についていくつかの提案があり、これらを変更し、メールでの審議を経た上で、最終版として承認することとなった。変更箇所4点は以下の通り、投稿票に独自性に関する文言を追記する。投稿規定において、「構成・提案型」の「構成」という概念は広いため、「開発・提案型」とする。文章中の「構成」を「設計・開発」などとする。項目4.2において、「原著報告」を「原著論文」とする。

続いて、理事 大門樹より、モバイル学会 Web から学会誌論文（PDF版）をダウンロードできるようにすることが提案され、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

著作権譲渡書の文言を議場で検討した結果、Web上で公開することを明示するため、項目(4)の「電子メディア化する権利」を「電子メディア化とこれを公開する権利」と変更することとなった。原著論文のフォーマットを検討した結果、以下の変更を行うこととなった。変更箇所3点は以下の通り、著者照会欄内のメールアドレスにおいて、@マークを(at)と置き換える。同箇所から、住所を削除する。段落間の間隔、参考文献の記載方法（和文：姓名、英文：名姓）、「採択」を「採録」として文言を統一する。

更に、理事 大門樹より、投稿が23件あり、査読の結果として、修正後再録6件、条件付再録6件、不採録9件、査読中が1件、辞退1件となったと、投稿状況の報告がなされた。発行計画について検討した結果、3巻1号と2号と6編ずつとして発行することが決定した。

その他、事務局（都築）より、次回のモバイル研究会は安藤理事により検討中であることが報告された。

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、議事録署名人として、理事 大森正子と理事 古川宏の 2 名を選任したいとの提案があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、12時に閉会した。
以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名押印する。

平成 25 年 6 月 22 日

特定非営利活動法人モバイル学会

議長：赤松幹之

議事録署名人：大森正子

議事録署名人：古川宏